第1号様式(その4)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特別地域特別保護地区海域公園地区 | 内における | 鉱物の掘採土石の採取 | 許可申請書 |

年　　月　　日

　　大分県知事　　　　殿

住所

申請者

氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 法人にあっては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　国定公園の | 特別地域特別保護地区海域公園地区 | 内における | 鉱物の掘採土石の採取 | の許可を受けたいので、自然公園法 |
| 第20条第21条第22条 | 第3項の規定により、下記のとおり申請します。 |

記

|  |  |
| --- | --- |
| 目的 | 　 |
| 場所 | 　 |
| 行為地及びその付近の状況 | 　 |
| 鉱物又は土石の種類 | 　 |
| 施行方法 | 掘採又は採取の方法 | 　 |
| 掘採又は採取の量 | 　 |
| 掘採又は採取設備 | 　 |
| 土地の形状を変更する面積 | 　 |
| 掘採又は採取後の土地の形状 | 　 |
| 関連行為の概要 | 　 |
| 採取又は採取跡地の取扱い | 　 |
| 予定日 | 着手 | 年　　　　月　　　　日 |
| 完了 | 年　　　　月　　　　日 |
| 備考 | 　 |

注(削除)

　1　「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等及び海域公園地区にあっては、海底の形状、着生する動植物、水深(干満)、潮流等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　2　「掘採又は採取方法」欄には、露天掘、坑道掘(横坑、たて坑、斜坑)等の別を記入すること。

　3　「掘採又は採取量」欄には、容積(立方メートル)及び重量(トン、キログラム等)により掘採又は採取量を記入すること。

　4　「掘採又は採取後の土地の形状」欄には、切羽跡階段状等掘採又は採取後の土地の形状について、具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　5　「関連行為の概要」欄には、支障木の伐採(樹種、本数、面積等)、支障となる動植物の除去、ズリ処理等申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　6　「掘採又は採取跡地の取扱い」欄には、跡地の整理、緑化の方法等風致景観の保護のために行う措置及び跡地の用途を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

　7　「備考」欄には、次の事項を記入すること。

　　(1)　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続の進捗状況

　　(2)　当該行為が鉱業法(昭和25年法律第289号)第63条に規定する施業案を必要とするものであるときは、当該施業案の概要

　　(3)　土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は土地所有者の諾否又はその見込み

　　(4)　過去に自然公園法の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可の年月日、番号及び付された条件

　　(5)　当該申請に関する連絡先（電話番号又はメールアドレス）。なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。

添付図面1　行為の場所を明らかにした縮尺2万5千分の1程度の地形図

　　　　2　行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺5千分の1程度の概況図及び天然色写真(カラー写真)

　　　　3　行為の施行方法を明らかにした縮尺千分の1程度の平面図及び断面図

　　　　4　行為終了後における植栽その他修景の方法を明らかにした縮尺千分の1程度の修景図

　　　　5　その他行為の施行方法の表示に必要な図面

　　　　※　行為の規模が大きいため、各号に掲げる縮尺の図面によっては適切に表示できないと認められるときは、当該施設の規模及び構造に応じて適切と認められる縮尺の図面をもって、これらの図面に替えることができる。